



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 301 号

(創刊 1988.12.14)

2014.10.05.

事業認定申請書縦覧

たくさんの意見書提出を!

8月27日付けで起業者が国交大臣に提出した南線の事業認定申請書が9月25日に横浜市公報に公示され、以後2週間にわたり栄区役所で縦覧しており、この期間中に申請書に対する意見書を提出することができます。

南線建設によって住民がいかに大きな被害と不利益を受けるかについて国交大臣への意見書を提出することができ、これについてはすでに準備していると思いますが、これと申請書に対する意見書を併せて10月9日までに黒岩県知事に提出することになっています。

これらの意見書は知事から国交大臣に送られて、南線の事業認定を認めるかどうかを決める上での重要な資料となるものであり、住民の生の声をなるべくたくさん国交大臣に届けるよう、全力を挙げて取り組んで頂くようお願いいたします。

今回公示された事業認定申請書は極めて事務的且つ一方的なもので、3月17日の説明会については会場を埋め尽くした住民の抗議の声で説明は全く聞き取れないまま終わったにも拘わらず、説明会は成立したと虚偽の主張をしています。

また、急傾斜崖地の危険区域3ヶ所を挙げながら、危険回避の対策は一切示さず、さらに文化財埋蔵地8か所を示しながらこれを守るための方法については何も示さないなど、住民の生命、財産や文化財保護など全く眼中にないかのような記載に改めて強い不信と憤りを覚えます。
(法都計部)

道路全国連・第40回全国連絡集会 開催案内

(今年は本郷台駅前あーすぷらざ だよ~ん!)

- 第一日目：10月11日(土)
時間：16時00分~18時30分
場所：あーすぷらざ2階会議室
・各地からの活動報告発表(6件)
- 第二日目：10月12日(日)
時間：9時30分~16時30分
場所：あーすぷらざホール
・記念講演「これからの日本」(11時~)
講師：米田 貢(中央大学教授)
・シンポジウム「道路運動40年 これから」
(パネルディスカッション 13時~)
パネラー：米田 貢(中央大学教授)
寺西俊一(一橋大学特任教授)
関島保雄(弁護士)
まさのあつこ(ジャーナリスト)
長谷川茂雄(東京都計道路
連絡会世話人)
橋本良仁(道路全国連事務局長)

- 当日参加、大歓迎よ~ん!! 来てよね!!
連協会員は受付にて、所属団体とお名前を記入することで参加できます。(参加費1,000円は連協負担します)

第26回統一パレード&集会 のお知らせ

- 日時：平成26年11月23日(日・祭)
- パレード
 - ①Aコース：本郷台駅前あーすぷらざ前
10時00分出発⇒桂台第5公園
 - ②Bコース：神戸橋遊水地前
10時00分出発⇒桂台第5公園
- 集会
 - ①場所：グリーンテラス本郷台前
桂台第5公園
 - ②時間：11時00分~13時00分

NEXCO の暴挙に対する怒り

庄戸地区では8月25日からNEXCOによるボーリング調査が強引に推し進められている。当日の朝、120人程の住民が工事長に説明要求したが、昼休みの間にフェンスを破りトラックを搬入させ作業を強行した。小競り合いもあり、パトカーも出動した。

これに憤慨した住民は道路用地封鎖作戦に出た。(庄戸地区は駐車禁止区域外)ところが夜間土日祝日は作業をやらないという約束にも拘わらず深夜10時過ぎ、山側にトラック2台を搬入させた。どんな手段を取っても強硬に推し進めようとするNEXCOに空恐ろしさを感じた。



(道路を不法占拠し、工事を強行 2014.09.25)

相手は若くて屈強な作業員が30人位何班か隊を組んで押し寄せるので老人と女性で頑張っている我々も力では太刀打ちできない。当然NEXCOの社長・横浜市長・国交大臣には抗議の文書を町会長名で出している。

9月23日夜間には、工事阻止の車両4台が傷をつけられるという事件も起こった。犯人は不明だが警察に被害届を出す予定である。

25日木曜日には機材を搬出すべくフェンスを大幅に切って(3回目)強引にトラックを入れようとしてパトカーを呼ぶ事件をおこした。29日には、「夜も作業をやる」という張り紙を貼っていった。

こんな静かな住宅街に10車線と聞いて耳を疑った。山側には50m四方の排気口があり庄戸は排気ガスの吹き溜まりになるのは間違いないだろう。永田氏は「庄戸は気管支ぜんそくだけでなく肺がんの多発地帯になりとても住んでいられなくなりますよ。」と警告。地質学者もトンネルによる地盤沈下の恐ろしさも

警告している。掘ってすぐ沈む即時沈下は測定するし保障する場合もあるが、その後何十年も続く圧密沈下のほうが恐ろしいが、これに関しては測定もしないし保障はあり得ないそうだ。この現場に来なければ全く知り得なかったであろう恐ろしい将来の庄戸の姿。皆さん想像できますか？怖くて想像したくありません。

私は道路委員になるまでは何となく大変なことになるそうだというイメージはありましたが、このような事件が目前で勃発し、道路建設が強行されればこの町は大変なことになるのではないかという危機感を身に染みて感じ取ることができた。我々が生きていうちだけでなく、子供にも孫にも何とかこの自然豊かで静かな環境を残してあげたい、守りたいと心から願いつつ今後一住民として何をして行かなければいけないのかを考えさせられた戦いです。まだ終わっていません！

ちなみに道路建設費として4300億、横浜市は600億出すそうです。そんなお金どこから出てくるのでしょうか。そんなお金があったら、住民にもっと便利で自然豊かで健康に過ごせる環境を提供していただけるなら、好き好んで反対運動なんかしないでよいのにと思いつつ、この25年間ひたすら戦ってくださった諸先輩に敬意を表す次第です。本当にご苦勞様です。まだまだ先は長いです。みんなで頑張りましょう。(庄戸三 鈴木文江)

対外活動報告

09/08 第18回公害調停(技能文化会館)

09/15 PM2.5シンポジウム

(神保町、1名参加)

09/20 岩崎ひろし市議会議員現地視察・協議

09/22 事業認定申請に伴う公告・縦覧資料の情報開示請求

09/22 広島国道2号線事業差止め・騒音被害損害賠償訴訟の最高裁への要請及び騒音環境基準見直しの環境省への要請行動(3名参加)

09/25 横環南線、横浜湘南道路の事業認定申請書の公告、縦覧開始

09/26 栄警察地域課、栄区役所区政推進課

10/01 公共事業改革市民会議(半蔵門)

10/02 スーパー堤防判決傍聴(東京高裁)